

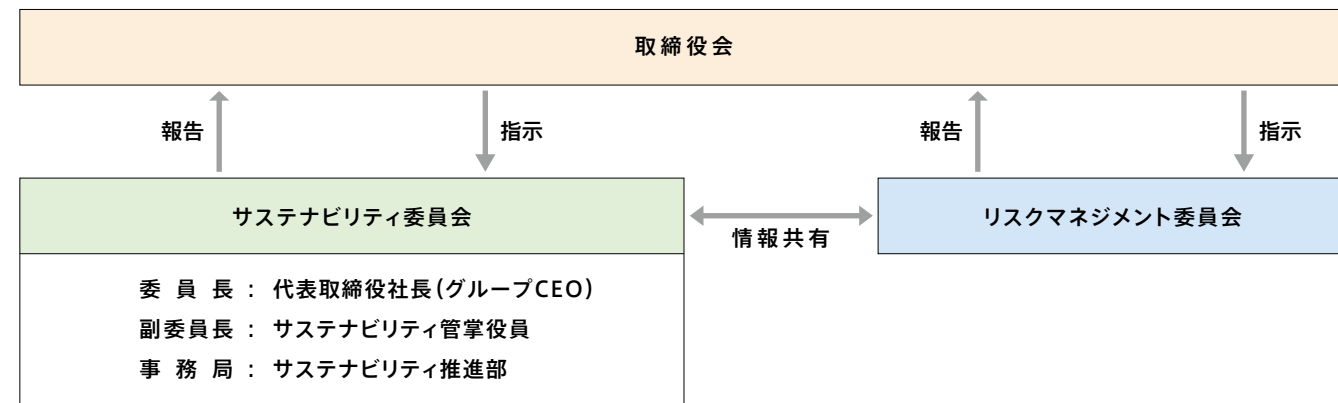
# サステナビリティの推進

## 推進体制

当社は、グループの経営理念に基づき、環境・社会・経済などの観点において持続可能な企業運営を行うべく、サステナビリティ体制を強化し、2022年4月にサステナビリティ推進室を、2022年7月にサステナビリティ委員会を設置しました。

サステナビリティ委員会では、グループの「サステナビリティ基本方針」

を立案し、マテリアリティ(重要課題)の特定、機会とリスクに基づくサステナビリティ戦略の推進、取締役会へのサステナビリティ課題と対応に関する報告や提言などを行い、原則として半期に1回以上開催しています。



## サステナビリティ基本方針

当社は、サステナビリティ体制の強化とともに、活動の基本となる「サステナビリティ基本方針」を策定しました。本方針のもと、さま

ざまな社会課題に対応する企業行動を実践していきます。

### 基本方針

SWCCグループは、信頼とイノベーションにより、「社会課題の解決」と「企業価値向上」を図り、サステナブルで豊かな未来社会を創ります。

- 優れた技術とイノベーションを通じ、お客さまへ高い品質の製品・サービスを提供します
- クリーンでグリーンなエネルギーの普及を図り、地球環境の保全に努めます
- 「共感」「共存」「共栄」の精神で、地域やバリューチェーンとのつながりを大切にします
- 個性や多様性を活かした働き方を推し進め、エンゲージメントの向上を図ります
- 役職員の人間性と倫理観を高め、良き企業文化を醸成します

## 社会課題の5つの要素

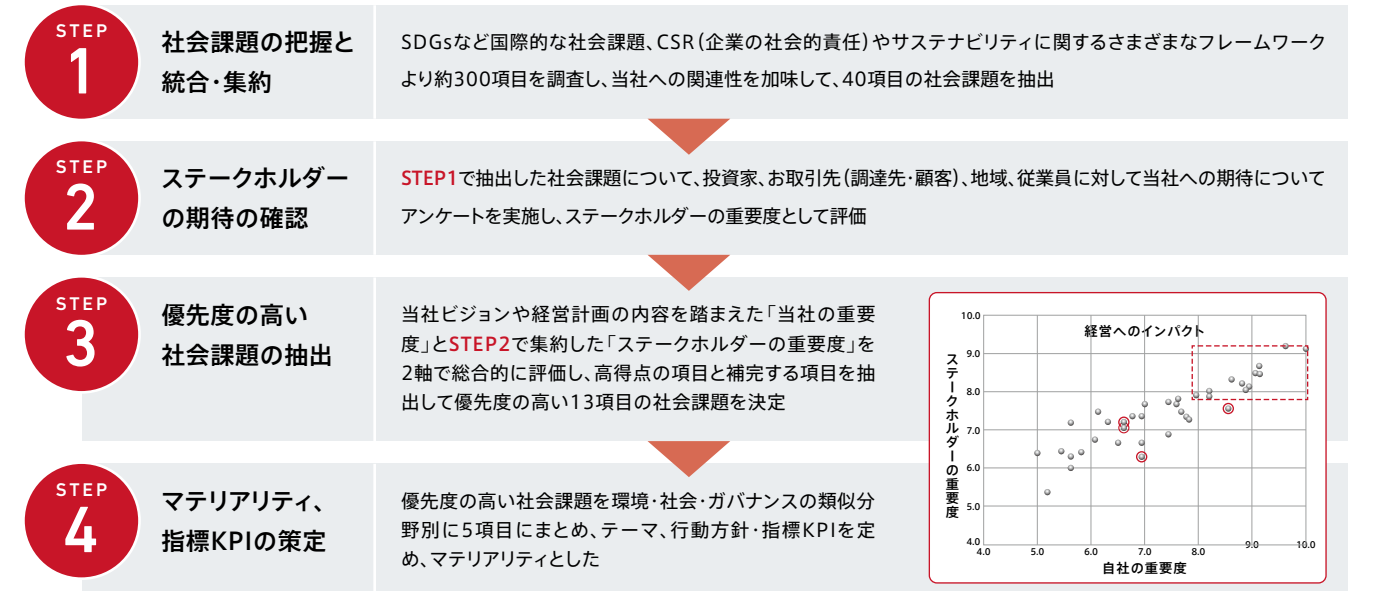


# マテリアリティ(重要課題)

## 策定プロセス

当社は、2023年4月の経営体制の再編を見据え、従来のCSR基本方針に基づく重点項目を見直し、2022年8月に新たな重要課題としてマテリアリティを設定しました。

の双方に影響の大きい社会課題を抽出して、優先課題を特定し、テーマ別に具体的な行動指標・KPIを策定しています。重要課題は、今後も中期経営計画の策定にあわせるなど定期的な見直しを行います。



高得点の社会課題の項目 (赤い点線) 補完する社会課題の項目 (赤い丸)

優先度の高い社会課題	分野	課題を解決するための施策
1 持続可能なクリーンエネルギーの普及	環境社会(技術)	温暖化防止のため、以下の施策に取り組む。 ・持続可能なクリーンエネルギーの普及に貢献する製品の開発、製造、販売を推進する。 ・当社グループで発生するCO <sub>2</sub> 排出量を減らすため、省エネの徹底および再生可能エネルギーの導入に取り組む。
2 温室効果ガス排出量	環境	
3 持続可能な消費と生産	環境	水は製造時に不可欠であるが、持続可能な資源であるとの認識から水使用量の削減に取り組む。
4 化学物質や廃棄物の削減	環境	廃棄物の3Rにより資源循環を推進、廃棄物の最終処分量(埋立量)削減を図る。
5 強靱なインフラ構築とイノベーションの推進	社会(技術)	環境配慮型電力インフラとxEV分野へ貢献することが当社に対する期待との認識から、関連する製品の開発、製造、販売を通じて課題解決に取り組む。
6 強靱で持続可能な都市の実現	社会(技術)	
7 ジェンダー平等	社会(人)	社会課題として優先させるべき課題であるとの認識のもと、以下の施策に取り組む。 ・当社グループとして女性社員比率・女性管理職比率に向上の余地がある現状から、ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組みを通じて全ての従業員にとって働きやすい環境を目指す。 ・エンゲージメントの向上と労働災害の発生予防を通じて、安全で働きがいのある仕事・職場づくりを目指す。
8 働きがいのある仕事	社会(人)	
9 人材育成	社会(人)	・研修制度の見直しと充実を図り、人材育成を進める。
10 地域コミュニティとエンゲージメント	社会(地域)	・地域社会との良好な関係を構築するため、地域への貢献活動を推進する。 ・社会課題を解決していく上で、パートナー企業とのコミュニケーション・関係強化が重要。お取引先と共に果たすべき社会的責任の基本的な考え方、ご理解とご支持を求めた「サプライチェーンサステナビリティ推進ガイドライン」のアンケートを通じて課題解決に取り組む。
11 事業に対する重要なインパクト	ガバナンス	コーポレートガバナンス体制の充実および強化を経営の重要課題と位置付け、監査等委員会を中心に監査、監督機能のさらなる強化を図っている。独立社外取締役の取締役会および委員会への関わりを企業経営のモニタリングの指標とする。
12 製品やサービスに対する安全性	ガバナンス	ステークホルダーからの信頼を得るためには、良質で安全な製品とサービスを提供することが不可欠との認識から以下の施策に取り組む。 ・品質向上のため、失敗コストの低減。
13 製品やサービスに関する情報とラベリング	ガバナンス	・顧客満足度調査によりお客さまからの意見を集約・分析し、抽出した問題を改善する。

# マテリアリティ

優先度の高い社会課題を類似分野別に5項目にまとめました。

国際社会が追求するこの社会課題の解決に貢献することにより、企業価値の向上と持続的な社会の実現に取り組みます。

【カテゴリ】テーマ	特定理由	行動方針	指標・KPI	2022年度実績	目標〈達成年〉	社会へのインパクト	事業へのインパクト
<b>【技術】</b> 未来を創る Our future 	当社とステークホルダーの双方に影響の大きい社会課題。本業を通じて社会価値と企業価値向上の両立を図る。	優れた技術とイノベーションによる持続可能なクリーンエネルギーの普及	xEV(電動車)関連製品の売上比率	13%	20%以上 〈2026年度〉	社会課題解決につながるキーテクノロジーが開発できれば、より豊かな社会の実現と人々の生活の向上につながる。	競争優位性の高い技術をもって、新市場の開拓と新たな事業機会の獲得につなげることができる。
			再生可能エネルギーの社内導入率	6%	30%以上 〈2025年度〉		
		未来社会に向けた強靱なインフラの構築	SICONEX <sup>®</sup> (サイコネックス)製品のCAGR(年平均成長率)	2021年度比18%	12% 〈2022~2026年度〉		
			特許出願件数	70件	100件以上 〈2026年度〉		
<b>【環境】</b> 地球にやさしい Our earth 	サプライチェーン・バリューチェーンの中で環境に対する役割を果たすことが重要。また、環境対応の遅れは、追加コストの発生やレピュテーションリスクにつながるなど事業経営に大きな影響を及ぼす。	たゆまぬ努力と対応による温室効果ガスの削減	温室効果ガス(CO <sub>2</sub> )排出量(Scope1+Scope2)	2013年度比37%減	2013年度比45%減 〈2025年度〉	自社の環境対応、お客さまやお取引先の環境対応に貢献することで、世界の気候変動の緩和に貢献する。	・気候変動にかかる移行リスクに対応するビジネスを展開できる。 ・環境対応に積極的な企業として、社会的な信用の獲得につなげることができる。
		グループ総合力であらゆる資源を循環促進	廃棄物の最終処分量	2018年度比75%減	2018年度比80%減 〈2025年度〉		
		かぎりある水資源の有効利用	水使用量	2018年度比9%増	2018年度比20%減 〈2025年度〉		
<b>【地域】</b> ともに生きる Our partnership 	サステナブルな事業活動を行うためには、地域社会との良好な関係を構築することが必然。社会課題を解決していく上で、パートナー企業とのコミュニケーション・関係強化が重要。	つながりを大切に、地域社会とともに発展	非営利団体などへの資金/物資援助・地域貢献活動(ボランティア以外)件数	20件	前年度比5%増 〈毎年〉	持続可能なコミュニティの実現に貢献することで、地域社会の活性化につながる。	地域で存在感を発揮することでSWCCブランドに対する認知度が高まり、さらなる信頼が獲得できる。
		共感、共存、共栄の精神によるバリューチェーンとの協力	サプライチェーンサステナビリティ推進ガイドラインアンケートスコア	3.8点	4.5以上 〈2026年度〉		
<b>【人】</b> ひとが輝く Our people 	社会課題として優先させるべき課題であるとの認識のもと、ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組みやエンゲージメントを高めることが、優秀な人材確保と生産性向上につながり、ひいては当社の変革と成長を推し進め、これまでにない成長のステージを実現することにつながる。	多様な人材活用の促進(Diversity & Inclusion)	女性管理職(課長職)比率	6%(2.8%)	8%(10%) 〈2026年度〉	多くの人々に継続的で平等な雇用機会を提供し、労働への意欲を向上させる。	人材の価値が高まることで事業が活性化し、安定した企業活動が実現でき、企業価値を高めることができる。
		未来への人材育成	従業員1人あたりの年間平均研修時間	2021年度比1.4倍	2021年度比4倍 〈2026年度〉		
		エンゲージメントの向上(働きがいのある仕事・職場づくり)	エンゲージメントスコア	46	55以上 〈2026年度〉		
			休業災害度数率	0.68	0.23以下 〈毎年〉		
<b>【ガバナンス】</b> より良き企業に Our governance 	企業価値を損ねることのない運営とすべく、ガバナンスやリスク管理・コンプライアンス強化を図る。これらの取り組みを進めることでステークホルダーからの信頼が得られる。	企業経営のモニタリング	独立社外取締役の取締役会および委員会への出席率	100%	75%以上 〈毎年〉	健全な経営に徹することで、良き企業市民として社会に価値を提供し続ける。	ガバナンスの強化を通じて健全経営に徹することで、企業価値を安定的、継続的に高めることができる。
		良質で安全な製品とサービスの提供	品質起因による失敗コスト	2021年度比10%減	2021年度比50%減 〈2026年度〉		
			顧客満足度	4.2	前年度スコア以上 〈毎年〉		